

【臨床・研究】

学校における運動器検診体制の 整備・充実モデル事業

— 6年間のまとめ —

| | | | | | | | | | | | |
|---------|--------|------------------------|-----------------------|---------|---------|-----------------------|-----------------------|---------|---------|-----------------------|-----------------------|
| くず 葛 | お 尾 | のぶ 信 | ひろ 弘 ¹⁾ | うち 内 | お 尾 | ゆう 祐 | じ 司 ²⁾ | おき 沖 | た 田 | えい 瑛 | いち 一 ³⁾ |
| まつ 松 | い 井 | ゆずる 譲 ⁴⁾ | くわ 桑 | はら 原 | かず 和 | よし 義 ⁵⁾ | やま 山 | さき 崎 | かず 一 | しげ 成 ⁶⁾ | |
| はた 秦 | | ただし 正 ⁶⁾ | ほり 堀 | え 江 | たく 卓 | し 史 ⁷⁾ | は 羽 | ね 根 | だ 田 | のり 紀 | ゆき 幸 ⁷⁾ |
| あさ 浅 | の 野 | ひろ 博 | お 雄 ⁷⁾ | む 武 | とう 藤 | よし 芳 | てる 照 ⁸⁾ | | | | |

キーワード：運動器検診，学校，学校医，養護教諭，整形外科医，問診票

緒 言

2000年から始まった「運動器の10年世界運動」日本委員会（委員長，杉岡洋一九州大学名誉教授）では「学校における運動器検診体制の整備・充実モデル事業」を発足させた。

学校保健法施行規則（H15.1.17 改正）から学校医の運動器に対する検診状況を見ると「定期健康診断時には脊柱，胸郭の検査の際には合せて四肢，骨関節の異常にも注意する」と規定されているにも拘らず，実際には脊柱側弯症を主体とした体制のみで本格的かつ系統だった運動器検診は行なわれていない現状と云わざるを得ない。

島根県医師会学校医部会は2005年度，北海道，

京都府，徳島県の3グループと共に指定を受け，「普通学校における運動器検診」を実施し，その実態，啓発，実施上の問題点，課題など研究調査に取り組んできた。この間，モデル事業は漸次10府県（新潟，宮崎，愛媛，埼玉，熊本，大分）に拡大された。また，このモデル事業に刺激され自発的に各地で学校運動器検診が実施されるようになってきた。近い将来，全国的統一的な運動器検診が行なわれる日も間近と期待している。以下6年間の主たる事業内容を列記し，「運動器の10年」の終了に当たり総括し“まとめ”として報告する。

要 旨

島根グループ事業（平成17(2005)年度～22(2010)年度）

平成17('05)年度事業

- ①島根県学校医運動器検診の現状（定期健康診断時）
- ②島根県雲南市児童・生徒の運動器検診（整形外科専門医による）

Nobuhiro KUZUO et al.

- 1) 島根県医師会常任理事・同学校医部会部会長
 - 2) 島根大学医学部整形外科教授
 - 3) 島根県医師会学校医部会 顧問
 - 4) 公立雲南総合病院院長・同整形外科部長
 - 5) 島根県臨床整形外科医会前会長
 - 6) 島根県医師会学校医部会副部会長 7) 同 常任委員
 - 8) 東京大学大学院身体教育学講座教授
- 連絡先：〒690-0882 松江市大輪町393-6